

涙の馬子唄

帝キネ現代映畫

原作並脚色者

楠 善 芳 氏

監督者

高木 英 雄 氏

撮影者

一宮 義 曉 氏

火柱お仙

歌川 八重子嬢

由松

杉村 ナエ子嬢

その他出演者

小島 洋々氏
竹島 慶一氏
長田 芳川氏

解説——今回監督に昇進した高木英雄氏の第一回製作なる現代映畫である。

略筋——少年馬子由松は幼い頃両親に別れ馬方藤造に拾ひ上げられ今では一人前の働き者となつた。戒る夜刑事に追はれて彼等の家へ逃れ匿



寫「涙の馬子唄」帝キネ高木英雄氏作品
右より歌川八重子嬢と杉村ナエ子嬢

はれた火柱お仙は由松の實の母であつた。けれども汚れた實母のありさは知らせたくない親心の切なさや彼女が苦く味はればならなかつた。夕さなれば近所の子供達が藤造に昔噺を聞く爲めに集ふのが常であつた。今宵は旅のおばさんにと新をせがまれてお仙は靜かに歸り出した。それは馬方三吉の哀れな物語りだつた。その涙の宵は親子の語りひに與へられた最初のそして最後の夜であつた。安らかに眠る我兒につきぬ名残りを惜しみ乍ら藤造の心盡しに感謝し乍らお仙は闇に紛れて去つて行く。けれども遂にお仙は夜明けと共に刑事に引かれて山道を歩いて行かねばならなかつた。彼女の眼に馬を追ふて山へ上つて来る由松の姿が痛く映じた。しかし由松は母の鳴咽を知らずに遠去つて行くのであつた。